

葛飾区

緑化推進協力員だより

第49号



2024年3月 葛飾区緑化推進協力員会

協力 葛飾区環境部環境課緑と花のまち推進係

【表 紙】

緑化推進協力員会の自主事業として、年に1度「施設見学会」を実施しています。令和5年度は、11月に東京都農林総合研究センターと社会福祉法人滝乃川学園に行きました。それぞれの施設で説明を伺い、晴天の中、実りある見学会となりました。

葛飾区緑化推進協力員は、葛飾区緑の保護と育成に関する条例に基づき葛飾区長から委嘱された、緑の保護と育成に関する区の施策に協力し、緑に関する知識と熱意を持って自主的な地域活動を積極的に推進していく区民のボランティアです。

緑化推進協力員会全体での活動、区内を4つのブロックに分け、それぞれの地域で行うブロック活動、地域における個人での活動など、緑化に関する様々な普及啓発や活動を行っています。

この「緑化推進協力員だより」では、緑化推進協力員の日頃の活動や、緑化について感じたこと・考えたことなどをまとめたもので、年に2回発行しています。

目 次

	題 名	ブロック	氏 名 ペンネーム	ページ
1	活動記録（後期）	第1ブロック		1
2		第2ブロック		2
3		第3ブロック		3
4		第4ブロック		5
5	春を待ちわびて球根に夢をのせつつ	第1ブロック	佐々木 定治	6
6	おどりハボタン	第1ブロック	引地 詔子	8
7	スワッグ	第2ブロック	五十嵐 美鈴	9
8	輪廻転生 あなたは何に？	第2ブロック	近藤 文子	12
9	震災復興三大公園に思いを寄せて!!	第2ブロック	半田 建二	15
10	お花とお話	第3ブロック	まあ~ちゃん (ペンネーム)	18
11	夏の暑さにもマケヌ	第4ブロック	田中 アヤ (ペンネーム)	20
12	花は咲く	第4ブロック	細井 操	22
13	編集後記		編 集 委 員	26



第1ブロック活動記録（令和5年10月1日から令和6年3月31日まで）

月日	会場	会議名・事業名	内容
10月1日～ 1月24日	水元スポーツセンター公園内花壇	花壇管理	合計17回 参加 水やり、花摘み、肥料
10月30日	金町駅前 南口	植え替え準備	花撤去と土づくり
11月 4日	新柴又駅前	花壇活動	植え替え
6日	金町駅前 南口	植付け	プリムラ、キンセンカ、ナデシコ、イベリス
6日	憩いガーデン花壇	植え替え準備	夏花処分
11日	フロリズ花壇	花壇活動	植え替え
13日	憩いガーデン花壇	冬花植え替え	植え替え
27日	清水農園	園芸教室	底面給水によるパンジー・ビオラの寄せ植え
12月 8日	清水農園	協力員向け勉強会	ミニプランター門松作り
3月 2日	フロリズ花壇	花壇活動	植え替え
9日	新柴又駅前	花壇活動	植え替え

随時 新柴又駅前花壇

水やり 草取り 花柄摘み

随時 フロリズ花壇

水やり 草取り 花柄摘み

第2ブロック活動記録（令和5年10月1日から令和6年3月31日まで）

月日	会場	会議名・事業名	内容
10月 3日	白鳥四丁目公園	草花手入・水やり	除草 1名 水やり 1名
16日	曳舟川親水公園	水やり・手入	2名
24日	曳舟川親水公園	花壇の水やりとゴミそうじ	2名
11月 15日	曳舟川親水公園	花壇のコリウス等片付け 耕耘	9名（水やり）
23日	曳舟川親水公園	花植付 道作り	・タイタンピカス50株 植付 ・ベアグラス円周に植付 ・廃材で歩道作り 3名
12月 1日	曳舟川親水公園	球根植付準備（チューリップ、アネモネ他）	3名
1日	区役所屋上緑化 見本園	園芸教室	ダブルデッカーってなに？ 参加者8名
2日	曳舟川親水公園	チューリップ、アネモネ他 球根植付 ノースポール、シロタエギク植付	18名 （花壇里親さんも参加）
7日	曳舟川親水公園	花植え パンジー、ネメシア、キンギョソウ、ハボタン他	6名
17日	白鳥四丁目公園	花植え ネメシア、スミレ、ノースポール	2名
30日	曳舟川親水公園	ノースポール、球根、玉りゅう他植付	4名
3月 7日	日本料理 松むら	第2ブロック臨時会議	令和6年度の2ブロック活動について 等検討

上記他 毎週月曜日、白鳥四丁目公園の水やり、清掃、花壇手入（半田協力員）

※その他、花壇活動に協力（5ヶ所）

第3ブロック活動記録（令和5年10月1日から令和6年3月31日まで）

月日	会場	会議名・事業名	内容
10月 6日	区役所屋上緑化見本園	秋の園芸教室「苔玉づくり」	参加者20名、講師江良さん、ブロックから補助に5名参加
11日	亀有地区センター	花と緑のはがきコンクール審査会	ブロックから3名参加
14日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者8名
25日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者7名
11月 11日	渋江公園花壇	整地	参加者9名
16日	下井宅	花苗受取	
18日	渋江公園花壇	花苗植え付け	参加者10名
20日	エコライフプラザ	花と緑のはがきコンクール表彰式	ブロックから2名出席
26日	柴又江戸川河川敷	柴又チューリップいっぱい2023	ブロックから6名参加
12月 9日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者4名
25日	細田グリーンバンク	4ブロック植付手伝い	参加者4名
26日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者4名
1月 13日	渋江公園花壇 喫茶店	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者8名、近くの喫茶店で新年会
24日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者6名
29日	渋江公園花壇	宿根草花壇の整地	ブロックから7名
2月 10日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者6名
27日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	
3月 9日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	
27日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	

- 第2土曜日、第4水曜日が渋谷公園での定期的な作業になっている。その間も、天候に応じて適宜水撒きなどを行っている。
- 今季植え付けた花苗は、よく咲くスミレ 4トレー・キンギョソウ 2トレー・ノースポール 2トレー・デージー・イベリス・ハボタン、ブラキカム・ネメシア・クリスマスローズ・シロタエギク・ヒューケラ・ヘリクサム各1トレー。ヘリクサムの育ちが良くなかった。
- 屋上緑化見本園花壇の維持管理は、3班にわかれ、各班月1回担当している。

第4ブロック活動記録（令和5年10月1日から令和6年3月31日まで）

月日	会場	会議名・事業名	内容
10月 7日	細田グリーンバンク	樹木フェア	フェア支援
10日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
21日	奥戸 鈴木協力員の畑	芋づる採取	園芸教室のための基本リング作成
31日	区役所屋上見本園	園芸教室	芋づるでクリスマスリースを作ろう 19名参加
11月 14日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
26日	柴又江戸川河川敷	柴又チューリップいっぱい2023	イベント支援
30日	新小岩間栗公園	地域活動	花壇手入れ
12月 13日	細田グリーンバンク	チューリップ植付け	無二保育園園児と共に
26日	細田グリーンバンク	花壇植替え	(冬・春)
1月 9日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
2月 13日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
13日	高砂地区センター	第4ブロック臨時会議	今期反省と次期対応の協議

葛飾区緑化推進協力員だより 49号に寄せる

第1ブロック 佐々木 定治

春を待ちわびて球根に夢をのせつつ



12月11日 子ども園で球根を植えました。説明をしっかりと聞いて心を込めて植えました。



球根は五泉市と富山球根です。球根を埋める土穴は、ペットボトルを活用して園児が、植えやすいように工夫しました。



12月11日にチューリップとスイセンの球根を植えました。子ども園の園児達が、プランターに土を入れ、植え方の説明をしっかりと聞いて学んだことを、実践に生かす活動をしました。

球根を見ただけでは、咲く花の色がわからないので球根に表示されている色を確認して、咲いた時の色のバランスを考えて、等間隔に植えることができました。

今の見えない色から開花した時の色を想像しながら植えることは、まるで「無の世界から有の世界」を創造していく高貴な活動のように思えます。春になって園児が小学生になる4月には、寒さの季節を球根が遅く受け止めた分、そして園児の夢を膨らませた思いを重ねた分も、美しく優しく開花すること間違いなしです。

園児達は、夢を球根に託し来る春を待ちわびています。

緑を知ること・緑を食べること



12月15日 樹木に名札をつけました。 年明けの2024年1月18日に畑の聖護院大根を収穫しました。



人の暮らしの中に緑を取り入れることは、暮らしそのものを楽しみながら生きることに繋がります。また緑は猛暑や風雨に侵されながらも、その命を粘り強くそして逞しくつなぎ、おかれた環境に適応させていく迫力に感嘆してしまいます。10月のはじめに蒔いた「聖護院大根の種」が数株成長し園児と1月18日に収穫作業をしました。園児がどの作業も平等に出来るように、1列に並び作業活動の進行確認をしながら進めていきました。こうして緑を知り育てることが、自然との関わりを持ちながらの暮らしを、豊かにして行きます。とりわけ「食」を支える緑の大切を学ぶことも、この世代の子ども達には大切な体験学習だと考えます。

おどりハボタン

1ブロック 引地 詔子

1 1月ごろからハボタンの苗が出てくると、毎年、おどりハボタンを作りたいくても出来ませんでしたので、渋江公園の花壇管理講習会に参加したときに渡辺先生にアドバイスをいただき、花芽が出たら切り続けることが大事とお聞きして、芽が出たら切るを繰り返していたら、ハボタンが夏を過ぎても枯れることもなく、枝がたくさん出来ておどりハボタンが出来ました。本当に自分で作ることができて感動です。

今度はキクの3本仕立てやポットマムや、鉢植えを作りたいです。去年は挿し木したけど、ほとんどうまくいきませんでした。

緑化推進協力員の方でキクを作られている方に指導していただけたら嬉しいです。よろしくお願い致します。



スワッグ

2ブロック 五十嵐 美鈴

私は緑と水の市民カレッジに参加して、初めて「スワッグ」を作りました。

「スワッグ」とは、ドイツ語で壁飾りを意味する言葉です。花や実や枝などを束ねて壁などに吊るして飾ります。



材 料：花、実、枝、ワイヤー、ラフィア、ジュート、リボンなど

・ワイヤー

20・24・28番。数字の数が多くなるほど細い。色はブラウン・グリーン濃淡何種類かある。束ねたり、短い花材に巻いて使う。

・ラフィア

ヤシの実を加工して作られた天然の繊維。束ねる時に使ったり、リボン飾りにも使う。

・ジュート（麻ひも）

巻いて使う。リボンはワイヤー入りだと、きれいに結べる。

作り方

- ①材料をみて、どのような感じにまとめたいか作業に入る前に考える。
- ②スワッグの持ち手をすっきり束ねられるように、余分な葉や不用な物を取り除き、2～3個のパーツを作る。大きい材料は持ち手の近くに配置するとバランスよくまとまる。ワイヤーカラフィアで束ねる。
- ③パーツ以外の枝、葉の上にのせて、全体のバランスを調整しながら好みにまとめて、仮止めをする。
- ④デザインが決まったら、ジュートを巻き、ラフィアかりボンを巻いて出来上がり。

スワッグ作りのコツ

- ①スワッグは飾った時に、きれいに見えるよう壁に接する面は平になるように作る。
- ②面構成でなく、段々に重ねていく。手元のあたりにポイントを置くと、バランスがよくまとまる。ボリュームのある大きな花などは手元あたりにおくと良い。
- ③まとめる時の注意、仮止めしたら必ず壁に飾ったように吊り下げて、目線より多少上に置いて目で確認して材料の位置バランスをみる。
- ④ワイヤーなどが見えてしまう場合は、その部分をみえなくなるよう葉や細かな草花などで修正すると美しくみえる。

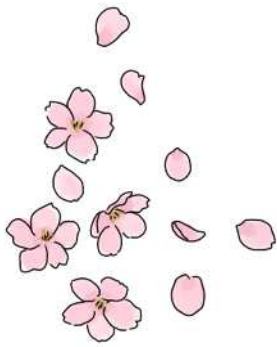
⑤こまごま気にせずに、ざっくりまとめると飾った時にイキイキした感じが伝わる。

講座で作ったスワッグは、応接間のテーブルに布を敷いて飾り、表玄関のドアには家にあった松ぼっくりやカラスウリの実、剪定した枝や葉、贈り物に付いていたリボン、片方になった赤いイヤリングを利用して、クリスマスとお正月のドア飾りを作り楽しみました。桃の節句や端午の節句なども作れたらいいなと夢がふくらんでいます。



参考資料 南雲今日子先生の講座の資料





輪廻転生 あなたは何に？



2ブロック 近藤 文子

俳句や短歌を詠んだり、作詞をしていると沢山の言葉を考える。新聞・テレビ・書物・友人知人との会話等の中で感じた言葉を必ずメモを取る。

「言葉探し」、「言葉の積木」、「一句集」と、自分なりに題を付けたノートを三冊。50年続けている日記帳と共に置いてある。単なるらくがき帳で、思いのままを書く事にしている。

特に作詞の場合には、三番までの歌詞を考えていると沢山の言葉・日本語の表現がいる。今風の「話し言葉」で書くのはなんとなく楽かもしれないが、五七五又は五七五七七の基本に近い言葉を連ねることは結構大変である。

今や理解に苦しむ「若者言葉」があるが、「金・金・金、株をやってお金を貯めて使わない事」としっかりと漢字で書いた18歳のポケットから落ちたメモ。うーんと唸ってしまった。これも字余りの短歌かな？

さて、最近出合った一番心に刺さった言葉を紹介したい。たぶん皆様ご存知かもしれないが。「人間は地球を必要としているが、地球は人間を必要としていない」。テレビ放送の中の一部だったかもしれない。心の臓に衝撃を受け、地球が頭にのしかかってくる気がした。どのように受け止めるかはそれぞれで、ここでの持論は避けよう。

最近発表された地球の寿命時間が、昨年同様2分に満たない。花も木も、あの川

も空も、厳寒に堪えて春を待つ動物も知っているのだろうか？

昔、むかしのその昔、月や太陽、星の位置を頼りに生活のサイクルを、不適切ながら、しかし一番適格に行動して来た先人の智恵。

コンピューターですべてを検索できる昨今。何もかも分かる「幸い」と「不幸」。分からないが少しずつ手探りで解き明かす「幸い」。いずれもAIではなく、血の流れる「人間」が先ず考え出したことである。

今や手先の携帯で検索できる時代に突入し、後戻りは出来ない。もしも後戻りを望むならば、「母なる地球という大地が深く永い眠りにつき、再び目覚める」までの時間を要する。宇宙とは、そういうものかもしれない。

さて、今、何気なく、養老孟司さんと下重暁子さんの猫についての対談をしている本を読んでいる。

養老さん「ブータンで食事をしていた時、隣席の人がコップのビールに落ちたハエをつまみ放してやっていた。こちらをちらりと見るなり、少し照れたような顔をして、お前のおじいちゃんかもしれないというんです。」

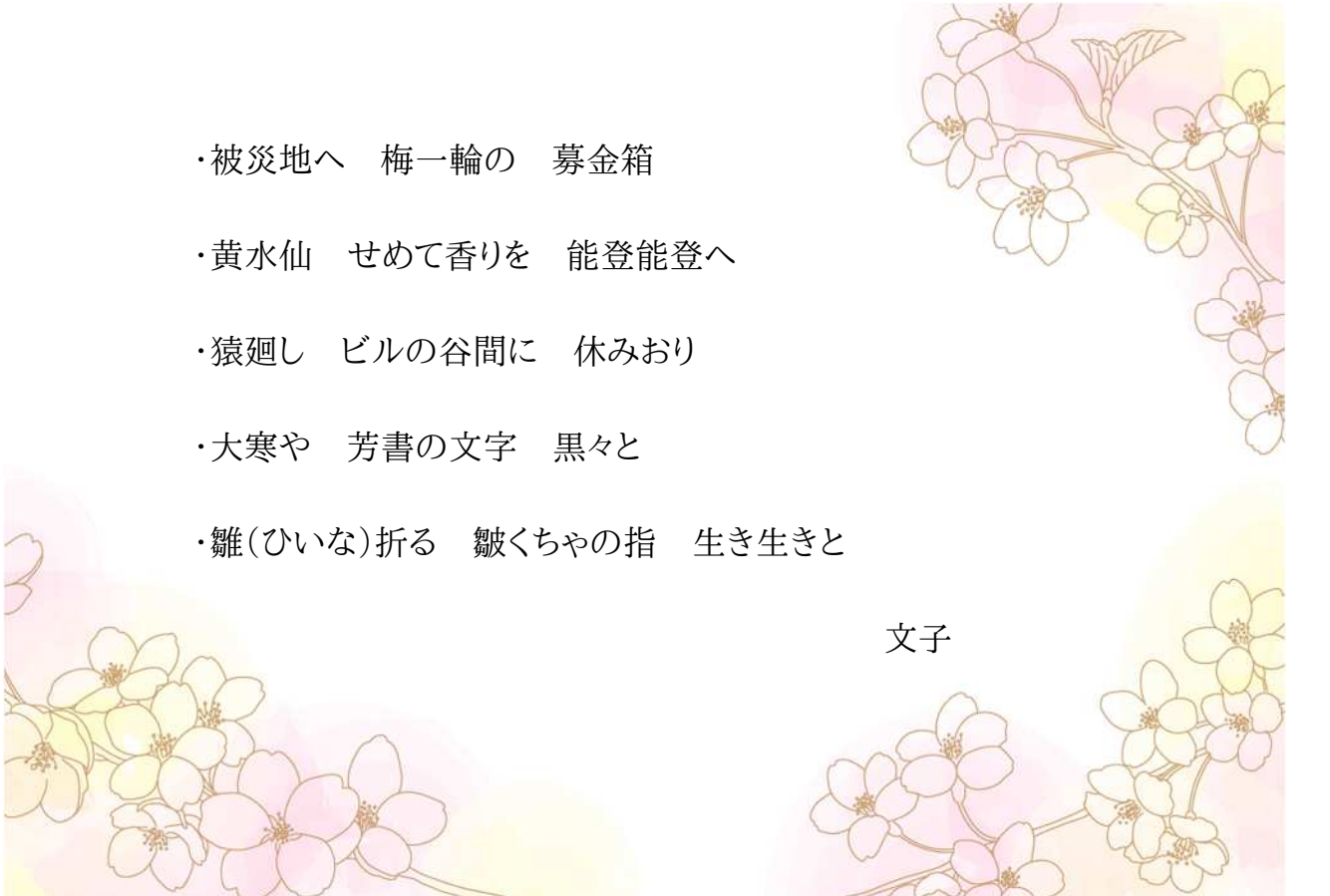
下重さん「いわゆる輪廻転生ですね。素敵な考え方ですよね。」

幼い頃より虫にいとおしさを感じた養老孟司さん。

植物を愛して止まなかった榎野万太郎さん。南方熊楠

さん等々果たして何に「輪廻転生」？ はてさて、私は何に？ あなたは何に？



- 
- ・被災地へ 梅一輪の 募金箱
 - ・黄水仙 せめて香りを 能登能登へ
 - ・猿廻し ビルの谷間に 休みおり
 - ・大寒や 芳書の文字 黒々と
 - ・雛(ひいな)折る 皺くちやの指 生き生きと

文子

出典：「老いてはネコに従え」 著者：養老孟司・下重暁子

2023.5.10 株式会社宝島社発行

震災復興三大公園に思いを寄せて!!

2ブロック 半田 建二

2023.7.15 緑と水の市民カレッジの『関東大震災 100 年を迎えて』の知られざる関東大震災!!講演の中で、公園の防災緑地機能、災害時避難場所の確保等を目的として整備された隅田公園・錦糸公園・浜町公園である事を知り、訪ね歩きました。

大正 12 年（1923 年）、関東大震災による被害状況を受け、帝都復興院総裁となった後藤新平を中心とする政府主導で計画された震災復興再開発事業は、東京市の防災都市化にその主眼を置いた。特に地震によって発生した火災による被害は甚大であり、延焼を食止める防火帯の設置が重要な課題となった。昭和通り等の幅員の広い幹線道路の建設と並んで、公園の確保に重点が置かれ、復興局公園課折下吉延らにより、東京に三大公園（墨田・浜町・錦糸）が設置されました。

【浜町公園】

中央区日本橋浜町 2 丁目にある中央区立の公園です。1929 年に開園。



浜町・清正公堂

当地は、江戸時代一橋徳川家、笠間藩主・牧野氏、弘前藩主・津軽氏、熊本藩主・細川氏、幕末期には沼津藩主・水野氏、岩槻藩主・大岡氏屋敷となっている。公園内には、広場の他加藤清正を祀る清正公寺がある。

【錦糸公園】

墨田区錦糸4丁目にある墨田区立の公園です。

明治時代に入り、当地が旧陸軍兵器廠錦糸堀倉庫となり、戦時中は空襲からの避難所としての役割や戦災で命を落とされた人達の仮埋葬所としても利用され、1928年7月に開園されました。



千種稻荷神社

園内にある火除けの神様を祀る『千種稻荷神社』。創建年代は不詳ですが、柳島の守護神として祀られたとも伝え聞いております

【墨田公園】

この地は水戸徳川家の蔵屋敷で、上屋敷の小石川邸は明治初め砲兵工廠となった

為、この小梅邸が本邸（当主・徳川昭武：慶喜の弟）となり、小梅邸は北十間川から隅田川に出る舟運の要衝であると同時に、水戸と小石川邸を結ぶ水戸街道沿いにあって街道の要衝でもありました。江戸時代から桜の名所であった。

隅田堤の桜が満開の明治8年4月4日、明治天皇も行幸されております。



震災復興三大公園

いずれもドイツや北欧の公園を参考に設計され、庭園風の趣のある近代的な公園であった。現在の公園は、戦後の改修で体育館が設置される等、開園当時の面影は殆ど失われており、門柱など辛うじて当時の遺構を残すのみとなっている。

墨田公園の墨田区側には首都高速道路が開通、桜並木の情緒を半減させている。

お花とお話

3ブロック まあ〜ちゃん

朝のウォークは日課でございます。寒い朝はさらなり。今日はお休みしよう、弱い人間は自分に甘い性格でございます。

犬は家族ですという自慢の話を聞くのも日課でございます。道端に可憐に咲く小さなお花にお声掛けをします。

「ありがとう、寒い風の中、一生懸命な姿に感謝です。」「今日もお逢いできて嬉しいです。」

ちらっとうなずいてご挨拶を返してくれる気がします。お花は道路の端でいつも道行く人を見つめているのでは？名前のない(知らないだけ)雑草かもしれません。弱弱しい寂しい姿を見せているかも、もしかしたら明日は枯れてしまいそうで、栄養もなく、犬や猫にいじめられ、土も悪い状況で、陽が当たらない我が地の運命に、愚直に生きる姿もあります。

近隣の駅を利用した折、プランターにキャベツのような花の名は無教養で分かりませんが、四季に各々季節感を教えてくれる心のオアシスがありました。再開発で何度かご移動されたようでございます。何処へ行っても貴方を捜しますからご安心下さい。

先日、新春のウォーク大会に参加させていただきました。100名を越える方々、ご家族連れ、お元気なご長寿の方等と一緒に中川沿いを1時間程、軽い汗をかきま

した。終着の柴又寅さん銅像前で、参加賞の花苗をいただき、早速我が家の前の道端に植えさせていただきました。思い出の花が道行く方々に、笑顔を振りまいていただくことを期待致します。

今は引退されましたが、伊藤きよ子さんの「花と小父さん」という曲を思い出すことがあります。「小父さんみてて 枯れるまで」その一節がしみじみ好きでございます。

今年新年から悲しいニュースが続きましたが、お花とお話すると心が優しくなるような気がします。

I LOVE FLOWER.



夏の暑さにもマケヌ

4ブロック 田中 アヤ

アメリカデイゴやビロウドモウズイカなど、めずらしい植物が木場ミドリアム木場公園に植えてありました。特にビロウドモウズイカは葉に特徴があり、ビロードの様なふあっとした気持ちの良い感触でした。高さも2メートルと見上げてしまいました。



アメリカデイゴ



ヨーロッパ原産
ビロウドモウズイカ（ゴマノハグサ科）

今回木場ミドリアムでガーデナー講座を学ぶ事が出来ました。他方面からのボランティアや地域のガーデナー経験者30名ほどの人達です。グリーンアドバイザーの香山氏、明るさとユーモアのある方で初日の緊張もほぐれ和らぎました。

春まき一年草の種まき、宿根草のいろいろな分類について、宿根草の掘り上げと株分け・土作り、挿し木について、花壇の植え付けなど「講義と実習」です。

今までに学んできた事を再び思い返しながら、また、新たに知識として受け入れる事ができました。

挿し木については、ペットボトルを半分に切り落し器作りから行い、アイデアに驚きました。SDG s 推進しながらの配慮でしたね。



もう一つ驚きは心あたたまることがありました。花壇植え付けの日、香山氏が保冷剤を一つ一つつなぎ合わせた冷たい首巻を全員に準備して持ってきてくれたことです。特に暑い日でしたので私達は大変な喜びと感謝の気持でした。他のグループとの共同作業も互いに声をかけ合い、香山氏やベテランガーデナーさん達の知っている実習に助けられながら花壇の植え付けを終える事ができました。

他方面で活動されている皆様と一定期間でありましたが共に夏の暑さにもマケヌ、信頼を結び、それぞれに違う場所での花壇づくりを深め、長い交流を続けていきたいと思います。

花は咲く

4ブロック 細井 操

正月早々暗いニュースが飛び込んできました。能登半島地震、たくさんの家屋が被災し多くの方が建物の下敷きになり、津波、火事とさらに被害を拡大させ、たくさんの方がお亡くなりになりました。

日本は地震大国とはいえ毎度繰り返される被害に目を背けたくくなります。復興には多くの時間がかかることと思いますが、一日も早く復旧復興されることを願うばかりです。

振り返れば、2011年3月11日、東日本大震災の記憶が思い出されます。

何とかしなければならぬとの気持ちから居ても立っても居られなくなり、最初の機会が訪れたのは震災から7ヶ月後。宮城県石巻市北上町地区へと深夜バスを利用して向かいました。

高速道路を降り石巻市内に入れば、景色が一変、家屋が津波で流され信じられない光景が眼前に。目を背けたくなる現実と直面。湾の堤防は崩壊し、強固に作られた水門は津波によって、内陸奥まで押し流され、ただの鉄の塊として畑に転がっていました。どんどんと海岸線を進み目的地に到着すれば、今まであった



集落はなくなり、民家の残骸が2・3軒のみ。後は一面の荒地へと様変わり。壊れた家屋の大きな残骸はダンプで運ばれ、残った小さな残骸処理を人力で協力し合って一か所に移動。塩水をかぶって重くなった畳の移動は二人でも重く時には四人がかり、割れた食器類、電線等。夕方日の暮れるまで作業し帰京。

二度目は翌年2012年4月。石巻市荒浜地区。農家からの依頼。津波で農地を諦めていた農家の人達が再び元のような農地にしたとの意欲が芽生え、広い農地の中に埋もれているたくさんの遺物処理の依頼。



日没ぎりぎりまでボランティアの皆さんと一緒に活動。帰路のバスの中から依頼者の感謝の見送りを受け、力強い看板に書かれた復興への立て看板に書かれたメッセージの傍を通り現場を離れる。塩分を含んだ土壌の中和化には更なる月日が必要とされるでしょう。



三度目は 2015 年 6 月。同じ宮城県でも、福島県寄りに位置する山元町の農園。
マンパワー不足のため育てたイチゴの収穫手伝い応援。

作業終了後、地元で被害のあった中浜小学校を訪問。早いもので津波の被害にあ
った 2 階建て校舎の周り是一片の雑草。



校舎内に入り、語り部さんから被害の実情の説明。なぜ 2 階天井まで届きそうな
津波の中、生徒を含む 90 名もの命が救われたかを知る。何でも、校舎が建てられ
た時には校舎の美観を損ねると反対された屋上の屋根裏倉庫が押し寄せる津波から
命を救ったとのことでした。2 階教室の一室
の壁には生徒達によって描かれた絵の中に
校舎を惜しむ感謝のメッセージが大きく壁
一面に飾られ、ここに来て校舎の存続をめぐ
って協議中とのことでした。



一通り説明を聞き終えて外に出た時に、ふと誰かが植えた校舎傍の花壇に小さく
咲いた花にくぎ付け。聞けば、何でもあまりにも無残な校舎は見るに忍びず、保護

者、卒業生や生徒達が朝夕立ち寄って、花のお世話としているとのことでした。花の力をまざまざと知ったような気がします。見るも無残な校舎を見守り、花によって勇気づけられた人がたくさんいたことでしょう。いつかまた訪れる機会があればと願っています。



山元町震災遺構中浜小学校- 山元町ホームページ (town.yamamoto.miyagi.jp)

<https://www.town.yamamoto.miyagi.jp/site/ruins-nakahama/>



編集後記

今年は暖冬傾向にある冬と言われています。暖冬であるかどうかを決めるのはその季節の終わりに気温の平均値を算出し、例年と比較した結果から後日に判定されるようです。冬なのに20度を超える日もあり、そうかと思えば5度にも満たない真冬の日もあり、特に2月から3月の気温の激しい変化には、ついていだけで大変な毎日でもありました。

冬と春の綱引き状況の気温変動の中でも植物や樹木は、その変化を巧みに受け取り、季節を速めながら花を咲かせ緑を豊かにし、実りをなす逞しさを見せています。

僣越ながら花を愛で、緑を暮らしの友とすることを私の楽しみとするものの、寒い季節と温かい季節の境目が曖昧になっているように思えてなりません。「緑と花のまち」を推進することは葛飾区の重要施策です。私はその末端の任を担っている「緑化推進協力員」の一人として誇りを持って、事業推進向上のため微力ながら努めていく決意をしています。

1ブロック 佐々木 定治

.....*.*.*.*.....

10数年ぶりで宝町神社の元朝祭に行って、「今年こそ穏やかな年になりますように！」とお祈りしました。

思ってもいなかった能登半島地震が起こり、大変なことが重なり心が折れそうになっていた時、根元から切られたはずの杏の木に、つぼみが3つ♥♥♥

私も負けずに頑張ろうと思いました。

2ブロック 五十嵐 美鈴

.....*.*.*.*.....

暦では、春が来ているのに寒かったり、雪が降ったり、ぽかぽか天気だったりして、寒暖差があって、体調に気をつける日が多く大変でした。ぽかぽか天気の日、植木の手入れをしました。花のつぼみが膨らみ、花が咲いていてびっくりしました。うれしくなり、時間を忘れて頑張ってしまうました。花は気持ちしだいで、穏やかになり、幸せにしてくれる不思議なものですね。花にありがとうと声をかけてしまいました！

3ブロック 江良 ヒデ子

.....*.*.*.*.....

今年も長い冬の寒さも緩んでまいりました。みなさんの預り育んだ花壇の草花も縮こまった姿からようやく、伸び伸びと葉や莖を広げるようになってきたのではないのでしょうか。今年は各ブロックから応援協力もあり、無事に植替が完了した第4ブロックの預かる細田花壇でも、そんな様子がかがえます。

そんなふうに、季節は春へと移り変わってきていますが、春は出会いの季節でもあり、別れの季節でもありますね。第4ブロックでも、長年ご尽力された方が会を後にすることとなりまして、今後のご活躍を応援しながらも、大変寂しく、まだ残る冬の寒さが一層肌身に滲みるように感じました。しかし、一方で新たに加入される方々もいらっしゃって、新たな出会いと活動のさらなる進歩を期待して胸が躍ります。

新たな仲間と手を取り合い、各ブロック協力しながら、みなさんで葛飾区を花いっぱいにとできると良いですね。

4ブロック 直井 勝